

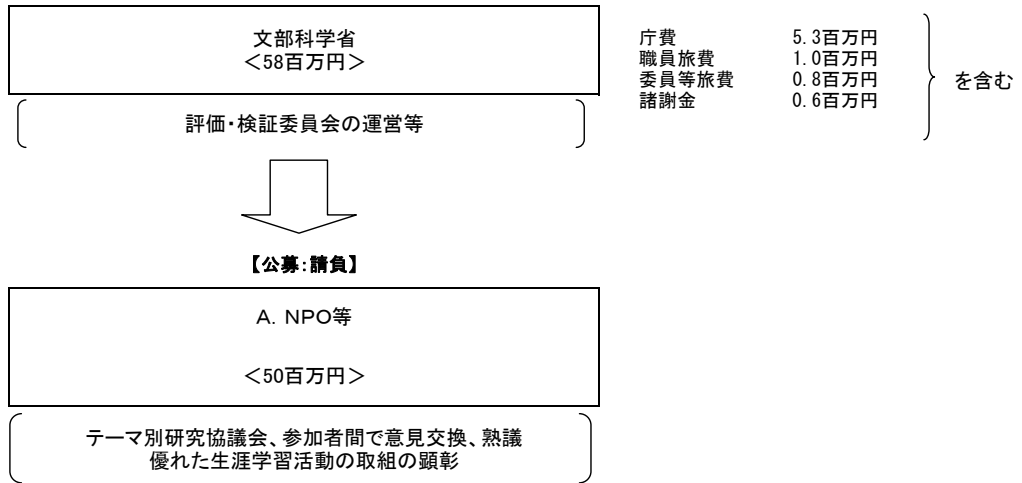
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	全国生涯学習ネットワークフォーラム	担当部局庁	生涯学習政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～	担当課室	生涯学習推進課民間教育事業振興室	生涯学習推進課長 藤野 公之				
会計区分	一般会計	施策名	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育基本法第3条	関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生涯学習活動の成果を生かして社会的課題の解決を図る取組(=「新しい公共」による社会づくり)を全国的に推進するため、行政、NPO等の団体、企業、大学等の人々(以下、「関係者」という)が一堂に会し、新たな手法開発や今後の方向性等を研究協議する場を全国的な規模で提供するとともに、関係者等の相互交流による全国ネットワークの形成を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国の関係者が集まり、全国生涯学習ネットワークフォーラムを開催する。本フォーラムでは、テーマ別に研究協議会を開催し、社会的課題の解決を図る取組について、これまでの取組状況や成果の報告・情報共有に加え、新たな手法の開発や今後の方向性等について研究協議を行い、その成果を広く全国に情報発信するとともに、関係者等のネットワーク化を図る。また、優れた生涯学習活動の顕彰を行う。加えて、外部有識者からなる評価・検証委員会を設け、効果や課題等を検証・分析し、事業の改善・見直しを行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	58	52	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	58	52	
		執行額	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値
	生涯学習の成果を地域や社会での活動に生かしている割合の拡大 ※17.2%(平成20年5月内閣府、生涯学習に関する世論調査)		成果実績	%				40
			達成度	%				
	「新しい公共」への国民参加割合の拡大 ※26%(平成21年度国民生活選好度調査)		成果実績	%				40
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	社会的課題解決のための新たな知見を得ることができたと回答した関係者等の割合		活動実績 (当見込み)	%				() (80)
単位当たりコスト	本事業は、新たな手法の開発や今後の方向性等について研究協議を行い、その成果を広く全国に情報発信するとともに、関係者等のネットワーク化を図るものであり、単位当たりコストを算出するのは困難である。		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.6百万円	1.7百万円					
	職員旅費	1.0百万円	1.0百万円					
	委員等旅費	0.8百万円	2.1百万円					
	庁費	5.3百万円	2.9百万円					
	全国生涯学習ネットワークフォーラム運営費	50.1百万円	44.4百万円					
	計	57.8百万円	52.1百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>これまで行われた政府横断的な事業点検による見直し基準等を踏まえた内容となっており、成果目標を達成すべく問題なく執行が進んでいる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、執行面における課題もない。また、事業の成果目標も立てられていることから適切な事業と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. NPO等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	研究協議会・顕彰実施経費 等	35			
諸謝金	有識者謝金	4			
旅費	有識者旅費	4			
雑役務費	ホームページ管理	3			
印刷製本費	ポスター、プログラム	2			
その他	会場借料、消耗品、通信運搬費 等	2			
計		50	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0